



今週の例会 第1539回

平成21年9月30日(水)
クラブ協議会
ガバナー公式訪問に備えて
荒木一寿ガバナー補佐

次週の例会 第1540回

平成21年10月7日(水)
富田謙三ガバナー公式訪問
富田謙三ガバナーアドレス
クラブ協議会

<http://www.maruoka-rotary.com>

創立 昭和53年3月21日 承認 昭和53年4月6日

会長 下田重道 幹事 奥村雅徳



**今日のロータリーソング
『我等の生業』**

下田会長 挨拶

みなさんこんにちは。
本日のお客様は、卓話をお願い
しています、福井新聞社常務取締役
の伊東博之様です。後ほどよろしく
お願い致します。
私も開高健の全集22巻を買いま
したが、まだ読んでいません。亡く
なった時の追悼の文集は読んだ覚え
があります。

食欲の秋ですが、読書の秋でもあります。今度こそ読もうと思っています。
先週9月11日(金)敦賀で福井県下会長幹事会がありました。会員増強のこ
とや、済んだ事業の発表・説明等が行われました。私も親子自然体験教
室のソバまきの事業と高校生の就職模擬面接会のことを発表しました。9
月12日(土)には会員増強福井第2グループ地域会議が福井市の県職員
会館で開催されました。釣部会員増強副委員長と共に出かけました。福
井北クラブなどの威勢のいいクラブもあり、丸岡も頑張らねばと思ってい
ます。9月13日(日)には、ハートピア春江で坂井市のボランティア祭りが開催
されました。桑野さん、釣部さん、事務局の宮川さんと計4名で参加しま
した。盲目のソプラノ歌手澤田理絵さんの歌声に感動し、又、盲導犬のこ
となどの講演を熱心に聞いてまいりました。盲導犬は現在1,000頭活躍し
ていますが、実際は8,000頭必要とされているということです。まだまだ不足
しています。皆さんのご理解をお願い致します。

奥村幹事 報告

- ※ 2008-09年度地区大会記念誌
- ※ ロータリー財団地域セミナーハンドブック
- ※ 活動報告書=勝山RC、若狭RC
- ※ 会報=若狭RC、島原南RC
- ※ 福井東RC 例会場変更のお知らせ
10/5、10/19=AOSSA8F
11/2、11/9、11/30 AOSSA6F

- ※ 災害義援金 一人1件千円をお願いします。
台湾台風災害義援金・兵庫県西・北部集中豪雨災害義援金への協力



第1538例会 委員会報告 (9月16日現在)

【出席委員会】

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	マークアップ	出席率%
36	21	11		4	69.44

- 【ビジター受付】 9/16 三国RC=奥中康師郎、真田一郎 福井水仙=青山真
- 【メークアップ】 9/15藤本会員(福井フエニックス) 9/25藤本会員、林田(千)会員

【ロータリー財団特別寄付】(入会順・敬称略)

下田・藤本・奥村・玉川 (本日5,000円 本年度累計160,000円)

【米山記念奨学会】(入会順・敬称略)

下田・藤本・奥村・高島・下村・玉川 (本日7,000円 本年度累計193,000円)

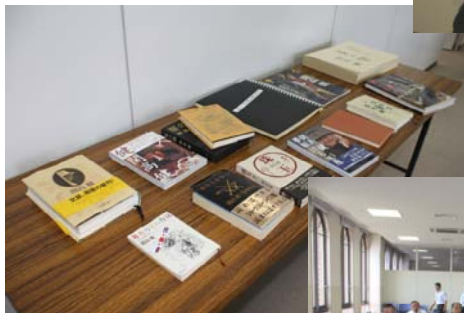
【ニコニコ箱】

..(順不同・敬称略)

本日 の 合 計	本日迄の累計	前年度実績
17,000円	430,400円	451,000円

下田...伊東博之様、卓話ありがとうございます。
奥村...伊東博之様、本日の卓話ご苦勞様です。
釣部...伊東さん、卓話ありがとうございます。
橋本...伊東様、卓話ありがとうございます。
藤本...伊東様、本日卓話ありがとうございます。
高嶋...伊東様、卓話ありがとうございます。
林田(恒)...伊東さん、卓話ありがとうございます。
高尾...伊東さん、卓話ありがとうございます。
倉本...伊東様、卓話ご苦勞様です。
桑野...伊東さん、本日は卓話ありがとうございます。楽しみです。
玉川...伊東様、卓話ご苦勞様です。

**9/16 ハートピア春江での
例会風景**



県内クラブ
例会日

月曜日
福井東 福井厚生年金
敦賀西 サビ7敦賀
Pm7:00点鐘

火曜日
福井南 織協ビル8F
勝山 山市民活動センター
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会議所
福井フエニックス 丸の内
Pm6:30点鐘

水曜日
福井北 ホテルフジフクイ
敦賀 北陸銀行敦賀支店
鯖江北 鯖江INPO会館
大野 大野商工会議所会館
丸岡 JA花咲ふくい

木曜日
福井 ユアーズホテル
武生府中 JA越前たけふ
福井水仙 神明神社
Pm6:30点鐘

金曜日
福井西 グラントリア
三国 三国観光ホテル
鯖江 鯖江商工会館
あじさい リバージュエケボノ

卓 話 『 福 井 人 ・ 開 高 健 』

福井新聞社 常務取締役 伊東博之様



◇開高健は、あまたの芥川賞作家の中で、小説書きにとどまらず、いろいろな分野の魁、ある意味の天才。寿屋トリスのコピーライター(柳沢良平とのコンビで、人間らしくやりたいな一)、プレイボーイが無かった時代にお色気雑誌の洋酒天国発行人。昭和33年(1958)に大江健三郎の「死者

の奢り」と競って「裸の王様」で芥川賞。1960年代はベトナム従軍記者としてベトナムに攻撃され200人中生き残った17人の1人。帰国後、小田実らとベ平連運動に取り組み、ニューヨークタイムズに募金を集めて意見広告。アウシュビッツ裁判、ピアフラ紛争など世界の戦争現場のルポライターでもあった。ルアー釣の先駆者で、オーパなど釣り寄稿シリーズがヒット。世界を股に飲み、食べ歩いたグルメの文章も秀逸で、食の文章の形容詞の多彩さは、今も多くの人々の参考になっている。環境問題にも敏感な人で、長良川河口堰反対運動の会長、新潟県の奥只見湖の永久禁漁河川の守る会の会長を死後も務めている。社会主義国家時代のモンゴルにイトウ釣りに出掛けて、チンギス・ハーンの墓探しを思いつき、在京新聞社の協賛で探検隊を組織したが、志半ばで死去した。

◇福井との縁。丸岡に「悠々として急げ」の石碑。エッセーで中野重治、越前カニ、水仙=福井関係図書名一覧。開高健記念会福井を今年4月に立ち上げ。



【福井が登場する本】

・「青い月曜日」=自伝的小説、戦中に祖父、叔母が丸岡に疎開、戦後に米の買出しに来たこと。

・「ああ・25年」=「困る」の項で、中野姓の繁栄と、絶滅の危機の開高姓について。

・「オール・マイ・トゥモロウズ」=中野重治とフンドシ論

議。

・「地球はガラスのふちを回る」=「越前ガニ」の項で、暗夜行路の「どこか遠い北の海でとれた蟹を思わせる女」の形容を引き合いに、越前かにを食べた瞬間に、これだと思い至ったこと。同行した水上勉は「若狭のサバと女子は、かなしいのや」と。「福井の海の三大宗はカニとウニとサバ」だと。

・「開ロー番」=「北陸の味覚王者の奢り」の項で、越前町こぼせ旅館の越前かにの味。「昂揚。開花。豪奢。ものもいわずにむしゃぶりつく。とろりと清らかな脂ののった白く豊満な肉に、紅が一刷き散ったのを、いくつもいくつも酢醤油の鉢のなかへほうりこみ、チマチマとでなく、ガツブリと箸ではさんで頬張るのである。この瞬間。完璧な充足。決定的で完璧な瞬間。しかもその瞬間が切れぬなしに、いつまでも一」

・「眼ある花々」=「寒い国の美少年」の項で、カニと水仙。高見順や三好達治、三国町の料亭にも触れる。

・「コレクション」=昭和39年、福井新聞に「自作を語るざばり東京」を寄稿。



◇開高健記念会福井の目指すもの

開高健記念会の活動。本部事務所は開高健が寿屋社員として大阪から上京して、住んだ杉並区の住宅。新潮社の元編集者で開高健の代表作「夏の闇」を担当した坂本忠雄さんが会長で、会員は全国に。開高健の終の棲家は神奈川県茅ヶ崎市。奥さん牧羊子さんが亡くなった後、茅ヶ崎市に寄付されて開高健記念館に。ここは小説家の書斎、居間がそのまま残され、直筆原稿や数々の本、写真パネル、釣り道具や愛用のパイプなど展示。記念会の催しとして、紅茶会と名づけた講演会が毎月開かれ、ゆかりの編集者や交流のあった人たちが毎月1回講話。記念会福井の会長の長谷政志さんも講演した。「こぞんじ」との題名の講演記録集。新潟県の奥只見の銀山湖には巨石に「河は眠らない」と刻んだ記念碑。

丸岡の「悠々として急げ」と全国に文学碑は2箇所。山の上の湖に注ぐ川の1本は永久釣り禁止で岩魚やマスがうようよ。開高健が「夏の闇」執筆のため逗留した宿があり、奥只見の魚を育てる会が毎年秋に魚を愛でる催し。開高健の命日の12月8日には、毎年東京で「ヌーボーの会」。全国のファンら200人ほどが集い、生前ワインを好んだ作家を偲ぶ催し。この会では、開高健ノンフィクション賞の受賞者のスピーチが恒例。開高健記念会の支部第1号として「記念会福井」が発足した訳で、この会の目指す所は、まず福井人・開高健の文学を楽しむこと。次に、どう県民に知らせ、末永く顕彰していくか。県立図書館入り口に福井ゆかりの作家紹介コーナーに25人のパネルがありますが、ここに開高健が入っていない。この目的のため、11月に写真展を企画。茅ヶ崎の記念館の協力を得て資料を取り寄せ、作家を身近に感じていただく。開高健の墓が北鎌倉の円覚寺松嶺院にあり、この墓石は長谷会長が越前町内で詠えて贈った。墓には水仙も植わってます。茅ヶ崎の記念館を回る墓参ツアーも企画中。記念会の事務局は丸岡五徳会の大霜さん宅でスタートしたが、どこか公民館などの一部屋に置くことができれば。本や記念会グッズを並べ、一本田福所にある「悠々として急げ」の記念碑、作家の祖父開高弥作の墓、神社の弥作と掘られた玉垣。また作家が蟹を食べに度々訪れた越前町の旅館、小説にも書いた水仙の花など、見学ルートの案内、説明が可能。記念会福井の活動を開高健記念会のホームページにリンクしPRして、全国からファンを呼び込みたい。地元が開高健ファンが増えた時、中野重治のクチナシ忌、高見順の荒磯忌にならって、「水仙忌」を企画するのも一案か。



◇開高健記念会福井の目指すもの

歴史探訪

西方寺城の馬場

春江町西方寺

紀倍西方寺城は、南北朝のころ、由良越前守光氏(ゆら)の居城であった。新田義貞に従って鎌倉攻めの軍功により与えられたものである。

当時の城主は、兵馬を養い武技を練り、武力を蓄え騎馬軍団の充実を図ってきた。馬場はその練武の場であった。幅十間(18メートル)×長さ百間(180メートル)は馬場の平均的な規模のものである。馬場は、出陣の馬揃え、騎馬の戦闘に欠かせない基礎訓練の犬追物、流鏝馬、笠懸などの戦闘訓練の場であった。近世、城下町においては、城内および城外に必ず馬場が置かれた。当時、馬は陸の船であった。馬場の原形は松並木とともに残り、神社の参道としてよみがえり、鬼辺郷(きべ)の守神としてのたたまい(たたまい)の一端を考えれば、神社と馬場は結びつき、松並木が一つの風趣をそ

えている。

